モクノバタイル

標準施工要領書

【釘打用・複合フローリング】

TOKYO KOEI CO.,LTD.

2607

標準施工要領書
【釘打用・複合フローリング(モクノバタイル)】

施工前の準備

施工前の注意点
・製品の仕様(樹種、サイズ、塗装仕上など)、数量に間違いがないか確認をお願いします。
・製品に瑕疵がないか確認してください。
・保管の際は直射日光や雨が当たる場所は避けてください。また湿気を避けた場所で立てかけずに平置きにしてください。

使用する接着剤
○推奨接着剤：コニシ(株)　KU928C-X(1液ウレタン樹脂接着剤)同等品
(株)オーシカ　セレクティ UR-20、セレクティ UR-21(1液ウレタン樹脂接着剤)同等品
(株)オーシカ　セレクティ MS-330A(1液変成シリコーン系)同等品
※酢酸エマルジョン系の接着剤(白ボンド)は使用しないでください。

使用する釘
・フローリング材固定の釘は 38mm 以上の長さのフロア用ステープルあるいはフロア用スクリュー釘を使用してください。
・フィニッシュネイルは使用しないでください。(拘束力が弱いため)

施工環境の確認
・床下の湿度が高く湿気がこもりやすい使用環境の場合(湿地帯や水辺、地下室など)は換気や防湿など十分な湿度対策を行ってください。
・冷暖房機器や換気システムからの風が床面に直接当たらないように注意してください。またストーブの周辺部ではフローリング材が過度に乾燥し不具合を起こす場合があります。フローリングにそのような使用環境が想定される場合は別途乾燥対策を行ってください。

下地の確認
・下地として厚み 12mm 以上の耐水合板(JAS 認定品：F☆☆☆☆)を使用してください。
・施工の際は合板が濡れていないことを確認し、含水率 12%以下であることを確認してください。
・パーティクルボードや MDF、HDF 材の上に直接フローリングを貼ることはできません。
・二重床下地、鋼製床下地の場合は当該メーカーの取扱説明書に基づき施工してください。
・下地合板は 2mm 程度の目地で透かして施工してください。下地に段差があると床なりの原因になる場合がありますので、段差に注意して施工してください。

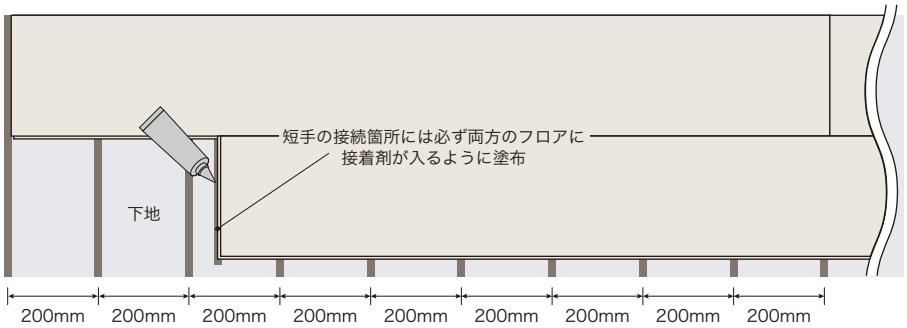
施工の手順

・施工の前に仮並べを行い、色合いのバランスを確認してください。またその際に製品瑕疵がないかの確認を行ってください。
・フローリング材は捨貼合板と直交するように張り込んでください。捨貼合板の継ぎ目とフローリング材の継ぎ目が重ならないようにしてください。
・接着剤は捨貼合板の上に 200mm ピッチ程度でビード状に塗布します。【図 1】
・フローリング材の短手の接続箇所には必ず両方の端部に接着剤が入るように塗布してください。
・塗布量の目安は下記の通りです。

商品名	塗布量	貼り合わせ可能時間
コニシ　KU928C-X	150～200g/㎡　ビードφ6mm 以上	夏：20 分以内　冬：60 分以内
オーシカ　セレクティ UR-20、UR-21		夏：20 分以内　冬：40 分以内
オーシカ　セレクティ MS-330A		夏：　5 分以内　冬：30 分以内

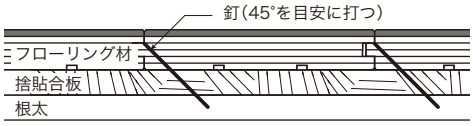
・フローリング材の実に直接接着剤を塗布しないようにしてください。床鳴りなどの不具合の原因となります。

【図1】

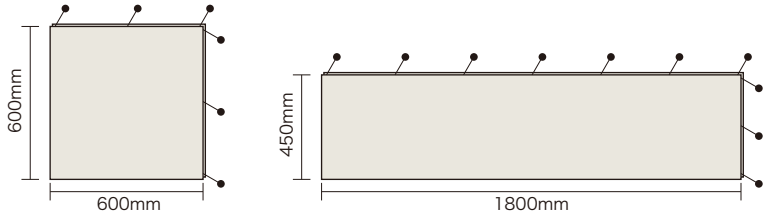


・釘打ちは雄実の付け根から 45 度の角度を目安に斜めに打ち込んでください。雄実を破損させないように注意してください。【図 2】
・釘打ちは 303mm 程度のピッチで根太上に行ってください。
・短手の雄実にも 3 か所以上の釘打ちをしてください。【図 3】
・接着剤がはみ出してフローリング表面に付着した場合は、速やかに拭きとってください。接着剤が硬化すると除去できなくなります。

【図2】

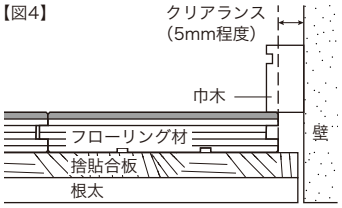


【図3】



・スペーサーの使用は不要ですが、フローリング材同士を強く密着させすぎないように注意してください。
・壁際、サッシや建具際は密着させないでください。5 ～ 10mm 程度のクリアランスの確保をお願いします。隙間は巾木や見切材料を使用して目立たないようにしてください。【図 4】

【図4】



施工後

・養生前に施工面をきれいに掃除し、木くずや建材の粉、小石、汚れなどを完全に除去してください。また養生前には必ずフローリング表面に湿気が残っていないことを確認してください。
・施工後は養生マットを敷き詰めてください。その際にフローリング材が露出している部分がないように注意してください。日焼けなどにより変色の原因になります。ベニヤ板やブルーシートで養生するとフローリングを傷める場合がありますので注意してください。
※特に自然オイル塗装で仕上げられたフローリングは、養生を行う前にフローリング表面に湿気や水分がないことをよく確認したうえで必ず通気性のある養生材をご使用ください。自然オイル塗装品にブルーシートなどの通気性のない素材で養生を行うと水分等によりフローリング表面に白化現象が発生する場合がありますのでご注意ください。
・フローリング材に直接養生テープを貼ることはできません。施工状況により、直接貼らざるを得ない場合は、十分注意してください。接着力が強いテープを使用した場合、塗膜やフローリング材を傷める可能性があります。
・フローリングに塗布されている塗料によってクリーニング方法が異なります。事前に使用されている塗料を確認の上、正しく引渡し前のクリーニングを行ってください。木質系フローリングに過度の水分は大敵です。クリーニングには多くの水分を使わずに硬く絞った雑巾などをご使用ください。

株式会社 東京工営 〒112-0014東京都文京区関口1-24-8 東宝江戸川橋ビル9階
TEL.03-5225-4080 FAX.03-5225-4081